2010 年 英文表記 科目名 生物有機化学 Bio-organic Chemistry 6月6日 作 成 教員名: 伊東 昌章 修 正 技術支援: 授業期間 対象学科 学年 必・選 |履修・学修| 単位数 授業形態 生物資源工学科 3年 必修 履修 2 単位 講義 诵年 1. 代表的な有機化合物の構造と働き、化学反応を理解する。 2. 生体成分に関連する有機化合物の構造と働きを理解する。 目標 3. 生体高分子およびそれらの構成成分の構造と働きを理解する。 4. 生命現象の解明に必要な化学反応を理解する。 1 2 3 4 JABEE プログラム名称 高専目標 JABEE プログラム教育目標 0 授業概要、 2年次で学んだ「有機物理化学」の知識をふまえ、代表的な有機化合物の構造と反応、 方 針、 生体成分の構造と働き、および生命現象に関与する化学反応について講義する。 履修上の注意 前期中間、前期期末、後期中間、後期期末の計4回の定期試験の得点で評価する。評 価割合は、それぞれ25%とする。100点満点の60点以上を合格とする。 評 価 方 法 マクマリー有機化学概説第6版(東京化学同人)=2年次「有機物理化学」で用いた 教科書・教材 もの、パワーポイントを用いたプレゼンテーション資料 化学-基本の考え方を中心に(東京化学同人)、マクマリー有機化学概説問題の解き方第6版(東京 化学同人) 参考図書 (他にも参考図書を探す場合のキーワード: 有機化学、生物有機化学、生命有機化学、生体物質化学) 授 業 計 画 時 内 授 業 項 目 授 業 容 間 生物有機化学の概要を理解し、到達目標を把握する。 1. 生物有機化学概論 2. アルコール、フェノール、エーテル アルコール、フェノール、エーテルの命名法について学 2 Š 3. アルコール、フェノール、エーテル アルコールの合成法について学ぶ  $\Pi$ 4. アルコール、フェノール、エーテル フェノール、エーテルの合成法について学ぶ 2  $\mathbf{III}$ 5. アルコール、フェノール、エーテル 2 アルコールの反応について学ぶ 6. アルコール、フェノール、エーテル エーテルの反応およびチオール化合物について学ぶ V 7. アルデヒドとケトン I アルデヒドとケトンの命名法、合成法を学ぶ 2 8. アルデヒドとケトンⅡ アルデヒドの酸化・環元、アルデヒドとケトンの付加反  $^{2}$ 応を学ぶ 9. 前期中間試験 1 10. カルボニル化合物 I ケト-エノール互変異性、エノールの反応性を学ぶ 1 11. カルボニル化合物 Ⅱ エノラートイオンの反応性について学ぶ

アルドール反応について学ぶ

12. カルボニル化合物Ⅲ

学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)		50
学習時間合計	60	実時間
学年末試験	[1]	
32. 脂質と核酸Ⅱ	2	脂質と核酸の構造を学ぶ
31. 脂質と核酸 I	2	脂質と核酸の分類、命名法を学ぶ
30. アミノ酸、タンパク質Ⅱ	2	アミノ酸、タンパク質の構造を学ぶ
29. アミノ酸、タンパク質 I	2	アミノ酸、タンパク質の分類、命名法を学ぶ
28. 炭水化物Ⅲ	2	炭水化物の構造を学ぶ
27. 炭水化物Ⅱ	2	炭水化物の命名法を学ぶ
26. 炭水化物 I	1	炭水化物の分類を学ぶ
25. 後期中間試験	1	
24. アミンIV	2	生物に存在するアミンを学ぶ
23. アミンⅢ	2	アミンの合成、反応を学ぶ
22. アミンⅡ	2	アミンの性質を学ぶ
21. アミン I	2	アミンの命名法を学ぶ
20. カルボン酸VI	2	アミドの命名法、性質を学ぶ
19. カルボン酸V	$\frac{2}{2}$	カルボン酸の酸無水物について学ぶ
18. カルボン酸IV	$\frac{2}{2}$	カルボン酸のエステルについて学ぶ
17. カルボン酸Ⅲ	2	カルボン酸の性質について学ぶ
前期末試験	[1]	スパ・ハ・マ 政・ソ・政 ボハヤグに フィ・く 子の
16. カルボン酸 II	$\frac{2}{2}$	カルボン酸の性質について学ぶ
15. カルボン酸 I	$\frac{2}{2}$	カルボン酸の性質について学ぶ
13. カルボニル化合物Ⅳ 14. カルボン酸 I	$\frac{2}{2}$	生体内カルボニル反応について学ぶ カルボン酸の命名法について学ぶ